

令和5年度
放課後子ども総合プラン
事業報告書



令和6年3月
石川県教育委員会

目次

○放課後子ども総合プランとは	1
○放課後子ども総合プランの実施状況	2
○放課後子ども総合プラン推進委員会	2
○放課後子ども総合プラン研修会	4
○放課後子ども総合プランに関する研修会	5
○放課後等の学習支援・体験活動推進事業 各市町の取組事例	7
・金沢市	8
・珠洲市	11
・加賀市	13
・白山市	15
・野々市市	17
・中能登町	20

放課後子ども総合プランとは

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次世代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来るように、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型（※）を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を進めるため、「放課後子どもプラン」（平成19年度～）に代わり、平成26年7月に「放課後子ども総合プラン」が、また、平成30年9月に、「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました。

国では、全ての児童の安全・安心な居場所を確保するため、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を進めるほか、新たに放課後児童クラブ又は放課後子供教室を整備する場合は、余裕教室などの学校施設を徹底的に活用することを目指しています。

石川県では、これまで全ての子供たちの放課後のため、従来のスポーツ活動や文化活動、子供会活動のほか、放課後児童クラブや放課後子供教室の取組などを地域の实情に応じて柔軟に実施するなど、「放課後子どもプラン」を着実に実施してまいりました。平成27年度以降は、「放課後子ども総合プラン」として展開しています。

子供たちの放課後において、地域の人々をはじめとする豊かな社会資源を活用し、子供たちの様々な体験活動や文化に触れる機会、そして、地域の様々な世代の方々との交流の充実に向けて、今後とも、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本冊子では、各市町の放課後子供教室の取組事例を掲載しております。取組の情報を共有し、より魅力ある教室となることを願っています。

※ 一体型とは、放課後児童クラブと放課後子供教室の児童が、同一の小学校内等の活動場所において、放課後子供教室開催時に、共通プログラムに参加できるものをいう。

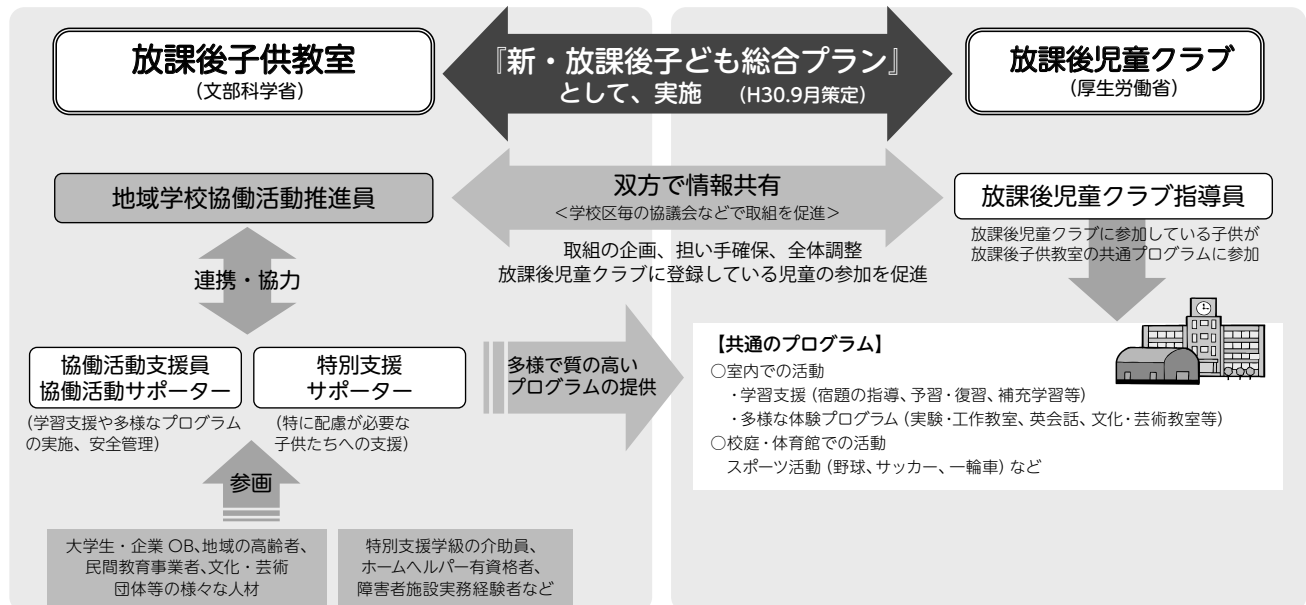
令和5年12月25日に通知された「放課後児童対策パッケージ」では校内交流型と呼ぶこととされた。

放課後子供教室

～放課後子ども総合プランの推進～

<文部科学省事業説明図より>

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策を推進



・2023年度までにすべての小学校区で、放課後児童クラブと一体型又は連携型の放課後子供教室を実施。うち小学校区で一体型として1万箇所以上で実施することを目指す。

放課後子ども総合プランの実施状況

R5.5.1 現在

放課後子供教室	
	開設数
金 沢 市	1 0
七 尾 市	
小 松 市	
輪 島 市	
珠 洲 市	8
加 賀 市	9
羽 咋 市	
か ほ く 市	
白 山 市	2
能 美 市	
野 々 市 市	7
川 北 町	
津 幡 町	
内 灘 町	
志 賀 町	
宝 達 志 水 町	
中 能 登 町	6
穴 水 町	
能 登 町	
合 計	4 2

R5.5.1 現在

放課後児童クラブ	
	開設数
金 沢 市	1 0 6
七 尾 市	1 9
小 松 市	3 5
輪 島 市	1 3
珠 洲 市	—
加 賀 市	2 4
羽 咋 市	5
か ほ く 市	1 3
白 山 市	4 1
能 美 市	1 7
野 々 市 市	2 9
川 北 町	3
津 幡 町	1 6
内 灘 町	6
志 賀 町	5
宝 達 志 水 町	2
中 能 登 町	5
穴 水 町	3
能 登 町	5
合 計	3 4 7

令和5年度石川県放課後子ども総合プラン推進委員会

(1) 目的

子供たちが、安全・安心に過ごすことができるよう放課後対策の総合的な在り方を検討し、指導員等に対する研修の企画や、事業の検証・評価を行うほか、市町の取組を支援する。

(2) 推進委員会委員

委員長	岩木 智子	石川県教育委員会事務局生涯学習課長
副委員長	谷野 明勝	石川県健康福祉部少子化対策監室子ども政策課長
委員	釜土 達雄	石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会会長
委員	桑村佐和子	金沢美術工芸大学教授
委員	佐野 直美	石川県PTA連合会副会長
委員	竹上 勉	石川県公民館連合会会長
委員	出島 理絵	石川県公立小中学校教頭会幹事
委員	東原 修身	石川県教育委員会事務局学校指導課課参事
委員	吉川 真季	野々市市立富陽小学校放課後子ども教室運営スタッフ

(3) 推進委員会の開催

開催日 令和5年7月7日(金) 石川県庁会議室

内 容 (1) 「新・放課後子ども総合プラン」について

(2) 「放課後児童クラブ・児童館等の課題と施策の方向性」

— 社会保障審議会児童部会放課後児童対策に関する専門委員会とりまとめについて —

(3) 放課後児童クラブに関する事業について

(4) 放課後子供教室に関する事業について

(5) 令和5年度放課後子ども総合プラン研修計画について

(6) 活動事例発表 「山代まちこやの活動について」(P 14 参照)

加賀市放課後子ども総合プランコーディネーター ルロワ東出 康江 氏

(7) 意見交換

出席委員のご意見より

- ・多くの地域で少子高齢化となっている状況で、若者世代を公民館のイベントに巻き込むのは、なかなか難しい。
- ・不特定多数で年齢的な幅の広い児童館と、特定の子供たちを対象とした放課後児童クラブを一緒になってやっていくというのは、大変難しく、うまく具合にどうミックスするかというのが課題である。
- ・「先生」という漢字は、先に生まれたと書くわけで、少し先に生まれた子供たちから子供たちが学ぶということは非常に重要である。
- ・スタッフが世代交代していく中で、コロナ禍を挟んで、今実際、放課後子供教室に通っているようなお子さんの保護者の方がスタッフとしていない状況となっており、今後はそういう方の力も借りて活動をしていけたらと思う。
- ・こうやって、一生懸命小さいうちからそこに通ってくれた子供たちは、きっと楽しい思いが残って、また手伝いに戻ってきてくれるのかなと思った。
- ・大学生は、本当に忙しく、またお金がない。有償ボランティアという考え方も含めて、大学生、高校生が活動に参加しやすい方法はどのようなものがあるのかということを考えてみてもよいのではないかな。

放課後子ども総合プラン研修会

日 時	令和5年10月25日(水) 10:00～11:30
会 場	石川県庁会議室
講義・演習	「昔遊びを活用した子供の体力向上」
講 師	石川県立大学教養教育センター 教授 宮口 和義 氏
参加者数	81名
対 象	各市町放課後子ども総合プラン担当者、放課後子供教室担当者、放課後児童支援員及び補助員、放課後児童クラブ運営管理者



<主な内容>

- ◇コロナ禍の子供の体力低下
- ◇親世代と比べても低下している子供の体力
- ◇投げる・捕る運動の重要性
- ◇遊びながら鍛えられる紙飛行機、筒投げ、吸盤キャッチ、ジャグリング(お手玉)が有効
- ◇歩くと走るの違い～ジャンプ力をつけたら足が速くなる～
- ◇縄跳びは代表的なSSC運動(筋や腱が伸ばされて縮む反動を利用した運動)であるとともに心肺機能に加え、体幹筋や身体のコイル、敏捷性、さらに骨密度を高める可能性が高い
- ◇「石川なわとび検定」に是非挑戦を
- ◇ラダー運動(ケンパー遊び)の勧め
- ◇人間にとって足裏は体を支えるための唯一の地面との接点
- ◇足趾力(そくしりょく)の重要性
- ◇足本来の機能をとりにどすために効果的な鼻緒のある草履サンダル

<参加者の声>

- 子供の体力低下を感じながらも、具体的に何をしてもよいかわからなかったのが、教えていただけてとても良かったです。是非実践していきたいです。(児童クラブ関係者)
- いろいろ子供たちに試したくなる内容ばかりで、本当にためになりました。お手玉、なわとびはすぐに実践します。動画もあってわかりやすく理解できました。(児童クラブ関係者)
- 近年骨折する子供がとても多いと感じていました。同時に体を動かして遊ぶこともとても少なくなっていると思います。子供にとって体作りはとても大切。遊びを通して楽しく体を動かすヒントを沢山もらえました。(児童クラブ関係者)
- なわとびや紙飛行機が、体力向上につながっていることを知り、遊びに対する見方が大きく変わりました。楽しみながら体力向上するならどんどん取り入れ活動していきたい。(児童クラブ関係者)

放課後子ども総合プランに関する研修会

◆◆放課後児童支援員等研修事業◆◆

放課後児童支援員等の資質向上を図るため、必要な知識及び技術の習得並びに課題や事例を共有する、初任者向けの研修や中堅者向けの研修等を実施した。

◆趣旨：研修を区分毎に分け、対象者ごとにレベルアップを図るための研修を行う。

◆対象：放課後児童支援員及び補助員、放課後児童クラブ運営管理者、各市町放課後子ども総合プラン担当者、放課後子供教室関係者

◆研修内容

区分	テーマ	内容	開催場所	開催日	時間	実績	講師
初任	個人情報の保護について	【講義・演習】 個人情報保護について正しく理解し、必要な情報を開示できるように、適切な個人情報の取り扱いを学ぶ	地場産業振興センター本館 第5研修室	6月13日 (火)	10:00 ～ 11:30	49	石川県総務課 行政情報サービスセンター 専門員 二口 雄介
			オンライン研修			178	
	「学童保育の指導員」になる、ということ	【講義・演習】 学童保育の指導員になるために必要な「子どもと共に居続ける」とはどうか、講義や演習を通じて学ぶ	金沢港クルーズターミナル セミナールーム	11月8日 (水)	10:00 ～ 12:30	67	金沢大学 准教授 鈴木 瞬
七尾市文化ホール 第12会議室	11月15日 (水)	67					
	11月22日 (水)	25					
中堅	配慮を要する子どもへの対応 ～育成支援の事例に係るカンファレンスについて～	【講義・演習】 日々の育成支援における課題や、放課後児童クラブで行うべきカンファレンスの実施方法について実践を用いながら学ぶ	地場産業振興センター本館 第7研修室	12月1日 (金)	10:00 ～ 12:00	40	金城大学短期大学部 客員教授 和泉 美智枝
			根上総合文化会館 204研修室	12月6日 (水)		36	
			コスモアイル羽咋 小ホール	12月8日 (金)		28	
共通	気になる子どもや家族との関わり方について	【講義・演習】 望ましくない行動をとってしまう子ども達の問題は何なのか。大人はどのように子どもへ寄り添えばよいのかなどを学ぶ	地場産業振興センター本館 第5研修室	12月19日 (火)	10:00 ～ 12:00	52	金沢少年鑑別所 所長 佐藤 健司
	オンライン研修	325					
	言葉を通して心をつなぐ ～相手に伝わる話し方～	【講義・演習】 言葉による伝え方や聴く力の大切さを学び、発声の方法やインタビューの実技から、言葉によるコミュニケーション力の向上を目指す	地場産業振興センター新館 コンベンションホール	5月31日 (水)	10:00 ～ 12:00	213	フリーアナウンサー (元テレビ金沢アナウンサー) 平見 夕紀
	子どものための心理的応急処置(PFA) ～災害時に子どものこころを傷つけず対応するために～	【講義・演習】 令和6年能登半島地震を踏まえ、災害などの緊急時に支援員等ができる子どものこころのケアの手法を学ぶ	地場産業振興センター本館 第5研修室	2月20日 (火)	10:00 ～ 12:00	55	桜美林大学 リベラルアーツ学群 准教授 池田 美樹
オンライン研修	248						
	子どもと一緒に作ってみよう！ すぐに遊べるおもちゃ作り	【講義・演習】 室内での遊びを充実させるため、身近にあるものを使って、子ども達が楽しく作って遊べるおもちゃ作りを学ぶ	オンライン研修	2月29日 (木)	10:00 ～ 12:00	153	いしかわ子ども交流センター 岡田 秀



資質向上研修



認定資格研修

◆◆放課後児童支援員認定資格研修◆◆

◆趣旨

本研修は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚労省令第63号。以下「基準」という。)に基づき、基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者が、放課後児童支援員として必要な知識及び技能を習得し、有資格者となるための石川県知事が行う研修である。

◆目的


放課後児童支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通理解を得るため、職務遂行上の必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識してもらうことを目的とする。

◆対象者

基準第10条第3項の各号のいずれかに該当する者で、放課後児童支援員として放課後児童健全育成事業に従事している者、または従事しようとする者

◆研修内容

内 容	講師	実施日時・会場						
		時 間	A 日程			時 間	B 日程	
			金沢 A 会場	小松加賀会場	輪島会場		金沢 B 会場	羽咋中能登会場
1日目		9/5 (火)			9/6 (水)			
1-① 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容	淑徳大学 特任教授 柏女 霊峰	10:50 ~ 12:20	地場産業振興センター本館 第5研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:10 ~ 10:40	地場産業振興センター 本館 第5研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
1-② 放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護	学校法人七尾学院 理事長 金土 達雄	9:10 ~ 10:40				10:50 ~ 12:20		
2日目		9/12 (火)			9/15 (金)			
1-③ 子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ	金城大学 教授 側垣 順子	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第2・3研修室
3-⑧ 放課後児童クラブに通う子どもの育成支援	津幡町のびっ子くらぶ 支援員 重木 奈穂美	10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
3日目		9/20 (水)			9/22 (金)			
2-④ 子どもの発達理解	金城大学短期大学部 客員教授 和泉 美智枝	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第5研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第5研修室	コスモアイル 羽咋 第3研修室
2-⑥ 障害のある子どもの理解		10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
4日目		9/26 (火)			9/29 (金)			
2-⑤ 児童期(6歳~12歳)の生活と発達	金沢大学 教授 滝口 圭子	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
2-⑦ 特に配慮を必要とする子どもの理解	県中央児童相談所 子ども・女性相談課 主任主事 船戸 美由紀	10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
5日目		10/3 (火)			10/6 (金)			
3-⑨ 子どもの遊びの理解と支援	いしかわ子ども交流センター センター長 小幡 喜宏	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
3-⑩ 障害のある子どもの育成支援	金沢手をつなぐ親の会 本部事務局次長 笠合 竜明	10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
6日目		10/10 (火)			10/11 (水)			
4-⑪ 保護者との連携・協力と相談支援	金沢星稜大学 准教授 芥川 元喜	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第5研修室	コスモアイル 羽咋 第2・3研修室
4-⑫ 学校・地域との連携		10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
7日目		10/17 (火)			10/20 (金)			
5-⑬ 子どもの生活面における対応	元石川県養護教諭 中畑 直美	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第3研修室
5-⑭ 安全対策・緊急時対応	いしかわ子ども交流センター センター長 小幡 喜宏	10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		
8日目		10/24 (火)			10/27 (金)			
6-⑮ 放課後児童支援員の仕事内容	津幡町のびっ子くらぶ 支援員 重木 奈穂美	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第3研修室	小松第一地区 コミュニティセンター ホール B	輪島市 社会福祉協議会 会議室	9:00 ~ 10:30	地場産業振興センター 本館 第5研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
6-⑯ 放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守	学校法人七尾学院 理事長 金土 達雄	10:40 ~ 12:10				10:40 ~ 12:10		

 Zoomによるオンライン配信

放課後等の学習支援・体験活動推進事業

各市町の取組事例



金 沢 市

担 当 課 金沢市教育委員会生涯学習課

住 所 〒 920-8577 金沢市柿木畠1番1号

TEL・FAX TEL 076-220-2441・FAX 076-220-2488

運営委員会名 (開催回数)	金沢市放課後子供教室コーディネーター連絡会		
構成役職 (合計人数)	放課後子供教室関係者、市職員(生涯学習課、子育て支援課、教育総務課(合計18名))		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室の活動について ・放課後子供教室と放課後児童クラブの連携について 		
放課後子供教室箇所数	10箇所	放課後児童クラブ箇所数	106箇所 (R5.5.1現在)
小学校区数	54校区	小学校児童数	22,147人
コーディネーター役職等(人数)	公民館主事、地域住民等(12名)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の企画・運営サポート ・地域の協力者との連絡調整 		

コーディネーター紹介

本市では地区公民館の職員や地域住民が放課後子供教室のコーディネーターとなり、子供達の健全育成や子育て環境づくりにおいて重要な役割を果たしています。

児童館や大学との連携等、それぞれの地域で工夫することで取り組みの幅を広げ、特色あるプログラムが展開されています。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

公民館が主体となり、今後も豊かな体験活動を通じた子供達の健全育成を図るとともに、地域の方々との交流を深めながら、地域全体で子育てをする環境づくりを推進したい。

活動場所	金沢市三和公民館
活動日・時間	月2回（水曜日）全18回 1年生／15：30～16：30 2年生～6年生／16：30～17：30
活動内容	ニュースポーツ、昔遊び、リトミック、集団遊び、折り紙、映画鑑賞、ケーキ作り、運動遊び他
指導者等 (スタッフ・運営体制)	教育活動推進員 4人 金沢市レクリエーション協会の方（活動に応じてお願いします）
活動の成果	平成16年度から始まった「三和あそびの城」。毎回、合わせて80～100人の子供たちが集まり、友だち作りの場として地域にすっかり定着してきた。活動内容が豊富なのも子供たちにとって魅力の一つだ。今年は4年ぶりに北陸学院大学の学生さんたちが来てくださり「モルック」や「紙ひこうき」「手形アート」などを通してのふれあいに子供たちも歓声をあげていた。また、閉級式では全員に「修了証書」が配られるので、それを励みに頑張って参加する子もいる。
参加対象	小学1年生～6年生
参加方法・費用	小学校を通じてチラシを配布し、申し込み用紙と年会費1,000円を公民館・児童館に提出する。年会費は、工作やケーキ作り等の材料費とする。
放課後子供教室と放課後児童クラブの連携	クラブの児童で、年間通じて保護者から申し込みがあった児童は、あそびの城の時間帯は公民館のホールへ移動する。 ケーキ作りでは、準備も含めてクラブの職員に手伝ってもらおう等、連携を行っている。
今後の課題	・今後も児童クラブでは出来ない遊びや、あそびの城でしか出来ない内容を考えたい。 ・金沢市レクリエーション協会の協力により道具等のレンタルもできるので、活動の幅は広がるが、コロナにより多人数での活動から、人数を減らして回数を増やすやり方に変更したので、その分指導者がかかわる時間は長くなり負担が多くなった。



紙飛行機



モルック

手形アート



童謡・唱歌に親しもう

リトミック

活動場所	湯涌芝原小中学校トレーニングルーム他
活動日・時間	毎週水曜・金曜日 17:30～19:00 他随時
活動内容	和太鼓教室
指導者等 (スタッフ・運営体制)	金沢百萬石太鼓・受講生保護者
活動の成果	湯涌地区の伝統芸能の継承を通じ健全育成と地区への愛着心をはぐくんではいる。技術の向上だけでなく、礼儀を重んじ、しっかりとした人格の形成、自主性や表現力を養うことに寄与し、自然な形で異年齢交流にも役立っている。
概要	週2回の練習、地域行事や様々なイベントでの演奏、ジュニアコンクールへの参加。金沢マラソン応援スポットでも演奏している。
教室立ち上げの経緯・背景	地域の和太鼓チーム「金沢百萬石太鼓」が後進の育成・伝統芸能の継承を目的として26年前に設立した子供和太鼓教室。受講生の数の増減や、出演回数の増加に伴い、講師や保護者の負担が増え苦慮していた。 地域の伝統文化を途切れることなく受け継いでいくことを目的に、教室の安定的な運営を助け、事務的な部分をサポートするため平成24年度より公民館事業として活動している。
参加対象	湯涌小学校児童（2年生以上）・芝原中学校生徒
参加方法・費用	年度初めに学校経由でチラシを配布、体験会を実施し 公民館に申し込み 会費はひとり1,000円/月
放課後子供教室と放課後児童クラブの連携	放課後児童クラブに通う小学校児童は太鼓教室への加入率が高いため、一旦下校して宿題を済ませ、練習日のおやつやボリュウムや、練習場への送り出し時間など細かい配慮をしてもらっている。
今後の予定	コロナで中断していたイベントへの出演、施設慰問など。
今後の課題	他の習い事との両立が大変なため、受講生が減りつつある。





珠 洲 市

担 当 課 珠洲市教育委員会事務局生涯学習係

住 所 〒 927-1295 珠洲市上戸町北方 1 字 6 番地の 2

TEL・FAX TEL 0768-82-7826 ・ FAX 0768-82-6630

運営委員会名 (開催回数)	珠洲市放課後子ども教室運営委員会 (支援員連絡会) (6回)		
構成役職 (合計人数)	放課後子ども教室関係者、教育委員会事務局長、教育委員会事務局担当者 (合計 14名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の運営について ・各教室運営の情報共有 		
放課後子供 教室箇所数	8箇所	放課後児童 クラブ箇所数	0箇所
小学校区数	9校区	小学校児童数	364人
コーディネーター 役職等 (人数)	生涯学習係職員 (1名)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの企画、運営 ・地域の協力者の確保、連絡調整 		

コーディネーター紹介

放課後における子供たちの安全安心な居場所を提供するとともに、子供たちが地域社会の中で、心豊かに育まれるよう「地域」「家庭」「学校」が連携し、地域で子供を育てる環境づくりを進めている。これからも地域の方々の協力を得ながら、子供たちに多様な交流、体験を提供していきたい。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

地域の方々の参画を得た活動プログラムを通して、様々な体験や交流が図られている。

事業の必要性が高まる中で、支援員や指導者の高齢化や人員不足が生じてきていることから活動を継続していくために人材を確保していきたい。

活動場所	蛸島小学校、若山小学校、みさき小学校、宝立小中学校 上戸小学校、飯田小学校、直小学校、大谷小中学校 8校
活動日・時間	月曜日～金曜日 放課後～18:00 土曜日、春・夏・冬休み 8:00～12:30
活動内容	自主学習、俳句教室、将棋教室、生け花教室、お絵かき教室、国際交流、ペタンク等軽スポーツ、英語教室、公民館事業参加等
指導者等 (スタッフ・運営体制)	支援員、協働活動支援員、地域の方々
参加対象	小学校児童
活動の成果	様々な体験活動や交流活動を通して、子供同士だけでなく、地域の大人とも交流を深めることができた。地域で子供たちを育てる意識の高揚も図ることができた。
今後の予定	子供たちが心豊かでたくましく成長できるよう地域の方々の協力を得ながらプログラムを充実させていきたい。



生け花教室



テーパーンボール教室



加賀市

担当課 加賀市教育委員会事務局生涯学習課

住所 〒922-8622 加賀市大聖寺南町二41番地

TEL・FAX TEL0761-72-7980・FAX0761-73-4824

運営委員会名 (開催回数)	加賀市放課後子ども総合プラン運営委員会(1回)		
構成役職 (合計人数)	放課後子ども関係者、放課後児童クラブ関係者、学校指導課長、子育て支援課長、生涯学習課長(合計7名)		
検討内容	放課後子ども教室及び放課後児童クラブの活動内容について 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携と今後の取組について 地域学校協働活動推進員の活動内容について		
放課後子供 教室箇所数	9箇所	放課後児童 クラブ箇所数	24箇所
小学校区数	17校区	小学校児童数	2,688人
コーディネーター 役職等(人数)	放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ関係者(4名)		
活動内容	放課後子ども教室と関係団体との連携促進 地域の人材の発掘、育成		

コーディネーター紹介

吉野 裕之 さん

加賀市の新たな教育の重点として、子供たちのウェルビーイングに基づいた個性の発揮、多様な生き方、つながりが求められています。コミュニティ・スクールも本格実施され、放課後子ども教室との連携や取り組みも新たな段階を迎えています。子供期の豊かな体験は、昔も今も大人になってからの自分の支えとなることは、変わりません。

子供たちが、地域独自のヒト・モノ・コトやスポーツと出会い、自分らしく輝ける場を今後も創っていきたいと思います。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

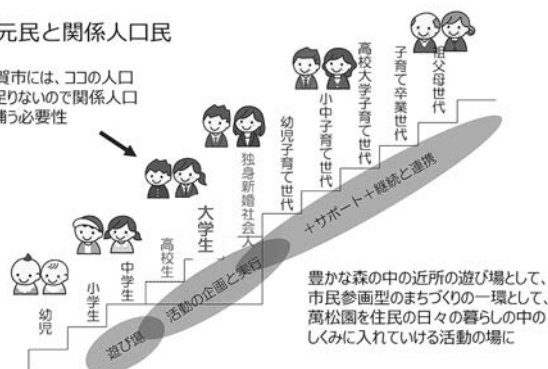
活動を続けてきたことで、放課後子ども教室が地域に浸透しており、地域の各種団体との協力関係のもと、地域における子供の居場所としておおきな成果を挙げています。

しかし、指導者の高齢化が進んでおり、今後の担い手となる人材の確保が課題となっており、必要な人材の発掘、育成が一層求められています。

活動場所	山代児童センター
活動日・時間	毎月1回（基本第1 or 第2土曜日）
活動内容	子供と一緒に四季折々の活動を行いながら楽しみ学ぶ
指導者等 (スタッフ・運営体制)	協働活動支援員、特別講師、協働活動サポーター、活動ボランティアなど
活動の成果	山代まちこやの名前や活動が、山代地区では少し定着してきた。お山に行けないときには「どうして今日は行けないの?」という子供もいる。
概要	「子どもと一緒にまちづくり♪」をテーマに、子供の頃から、地域の自然とともに遊び、まちで遊べてよかった!という記憶を紡ぐ活動である。対象参加者は、主に小学生(特に低学年)である。高学年は徐々に低学年をリードする役割に移行できるよう気を配っている。
教室立ち上げの経緯・背景	温泉地としての弊害か、学習時間に不在の保護者も多く、町が関わる子供の基礎学力定着活動として発足。当初から大学生との連携を図り、若者が子供と活動する重要性に気付くが、県内に同様の活動が増え、金沢から遠い山代は敬遠され、大学生との連携が途絶えた。高校生の参加も試みるが理解が進まず、関われる世代を増やし、あらゆる基礎学習につながる自然活動への方向転換を図った。
今後の課題	専門家も交えた様々な人との協働の活動を重ね続け、地域活動の世代による緩やかな階段を作ることが裏テーマ。高校生・大学生となった子供がスタッフとして参加するようになる循環をつくるためにも、現時点では、子供が憧れる対象の大学生や若者(U25)のスタッフ参加が必要である。しかし、大学生は進学で市外県外に引越すため、市内在住の大学生スタッフの確保が難しい事が課題だ。世代の偏りがある地域には、関係人口民の参加の理解を得たい。

地元民と関係人口民

加賀市には、ココの人口が足りないので関係人口で補う必要性



←山代まちこやで一番人気の活動「コッサめし」。アカマツの枯葉をかき集め、ごはんを炊く。



白山市

担当課 白山市教育委員会事務局生涯学習課

住所 〒924-8688 白山市倉光二丁目1番地

TEL・FAX TEL 076-274-9572・FAX 076-274-1665

運営委員会名 (開催回数)	白山市社会教育委員会議 (2回)		
構成役職 (合計人数)	市公民館連合会、元学校長、元保育園長、主任児童委員、市PTA連合会、地域団体等 (9名)		
検討内容	子どもの放課後の実態把握について ・放課後子供教室の活動について ・今後の展開について		
放課後子供 教室箇所数	2箇所	放課後児童 クラブ箇所数	41箇所
小学校区数	19校区	小学校児童数	6,085人
コーディネーター 役職等(人数)	白山市職員 (1名)		
活動内容	各教室との連絡調整、事業企画等への助言		

コーディネーター紹介

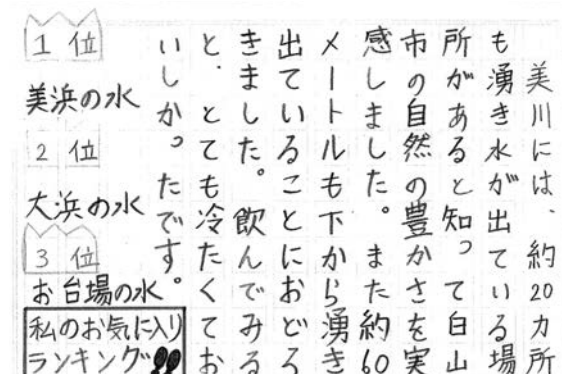
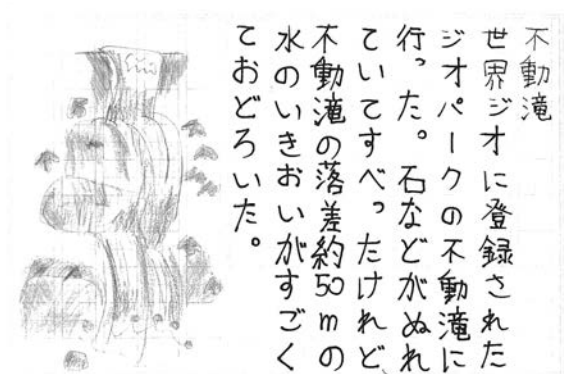
生涯学習課職員が教室と連絡を取り合い、円滑な教室運営となるよう努めている。教室が持つそれぞれの特色を生かせるよう、活動に参加する子供たちと地域や関わる人たちをつなげていく。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

子供たちにとって学校外においても安心できる居場所の確保に努めてきた。参加した子供たち同士の交流はもとより、子供発信による地域とのつながりを生み出してきている。継続的に参加する子供も増えてきている。より多くの参加につなげていくことができるように、地域の協力や発信力の強化を続けていく必要がある。

概要	市内各地域の自然や文化、歴史への理解を深め、「水と人々の関わり」をテーマとした体験学習を実施することにより、本物にふれ合う感動を味わい楽しさを体感することで参加者の豊かな感性を育むことに寄与する。
参加対象	市内小学生4年生～6年生（各回15人程度；申し込み多数の場合、抽選で決定）
活動日・時間	年6回 土曜日・10時～15時を活動時間の基本とする。
活動内容	「水と人々の関わり」をテーマとした体験学習とし、各地域を巡りながら自然についてだけではなく現地の文化や歴史、生活等についても学ぶ。活動は午前・午後で各1つ程度としている。 また、各回の内容に関わる専門家や地域の方々に協力していただきながら学習活動を行っている。
活動の成果	参加者が家族等にも説明したり再度訪ねて追体験したりできるように、訪問地や体験内容等に関する資料を配布している。また、参加して感じたことを各自がまとめ、生涯学習課で集約した後に参加者全員に返すことで、参加者同士が各活動をどのように感じているのかを共有できるようにしている。その結果、家族で再訪したり、活動中も各々で記録を残す様子も見られている。

活動の様子・参加者によるまとめ



野々市市

担 当 課 野々市市教育委員会事務局生涯学習課

住 所 〒 921-8510 野々市市三納1丁目1番地

TEL・FAX TEL 076-227-6117・FAX 076-227-6258

運営委員会名 (開催回数)	野々市市地域学校協働活動運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	生涯学習課長、子育て支援課代表、放課後子ども教室コーディネーター、放課後子ども教室代表、放課後児童クラブ代表 (2名)、土曜日等の教育活動代表、地域学校協働本部長、地域学校協働活動推進員		
検討内容	放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブ、地域学校協働活動の現状 放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブ、地域学校協働活動の課題		
放課後子供 教室箇所数	7箇所	放課後児童 クラブ箇所数	29箇所
小学校区数	5校区	小学校児童数	3,271人
コーディネーター 役職等(人数)	野々市市家庭教育サポーター (1名)		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・地域の協力者の募集 ・放課後子ども教室、講師等の連絡調整 		

コーディネーター紹介

川上 秀子 さん

例年になく学校行事の変更・早帰りなどのスケジュール変更が多かったですが、大きなトラブルはなく実施することができました。

活動は、外部団体の協力も得られ、充実した内容となりました。参加児童の保護者からも高評価をいただいております。今後も安全安心な居場所となる放課後子ども教室の運営にスタッフ一同尽力していきたいと思っています。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

本年も多くの申込があり地域に根付いた事業となっている。スタッフと子供達と一緒に楽しめる催しを協議、考案し、みんなが笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができた。

教室によっては、スタッフの確保に苦慮することもあるが、今後も、活動を維持できるスタッフ数を確保しながら、新しい催しを考案しつつ、活動の幅を広げていきたい。

こどもセンター放課後子ども教室

野々市市

活動場所	野々市市役所
活動日・時間	毎週月曜日 15:45~16:45
活動内容	出前文庫、いきもの道場、施設見学、果樹園見学、野々市めぐり、公園であそぼう、防災教室、お茶会、野々市クイズ、フラワーアレンジ、英語であそぼう など
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費5,800円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	活動場所である施設の特性を生かした活動を行い、子供たちに様々な体験をさせることができた。また、それを通じて、色々な人と関わりあいを持つことができた。



公園であそぼう



防災教室

野々市小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	野々市小学校 マルチルーム
活動日・時間	毎週水曜日 14:30~15:30
活動内容	七夕工作、いきもの道場、ネイチャーゲーム、フラワーアレンジメント、英語であそぼう、果樹園見学、出前文庫、お茶会、クリスマス工作、お正月あそび など
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費5,800円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	さまざまな体験活動で、子供たちが元気に放課後の時間を楽しむことができた。



いきもの道場 (ザリガニ)



英語であそぼう

御園小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	野々市市女性センター 軽運動室
活動日・時間	毎週水曜日 15:15~16:00
活動内容	ミニ運動会、出前文庫、七タクッキング、バスでまち巡り、果樹園見学、英語であそぼう、いきもの道場、レクリエーション体操、お茶会、お正月あそび、折り紙教室 など
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費5,800円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	放課後の限られた活動時間ではあるが、子供たちに様々な体験をさせることができた。また、地域の方々にも協力していただき、安全安心な子ども教室を実施することができた。



果樹園見学



お茶会

菅原小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	菅原小学校 プレールーム
活動日・時間	毎週木曜日 15:00~15:45
活動内容	いきもの道場、市役所見学、折り紙教室、バブロケット・しゃぼん玉、果樹園見学、秋まつり、お茶会、出前文庫、お正月あそび、フラワーアレンジメント、英語であそぼう など
指導者等 (スタッフ・運営体制)	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費5,800円(年会費 保険料を含む)
活動の成果	今年度もさまざまな体験活動を、子供たちと楽しみながら取り組むことができた。



ドミノ



出前文庫



中能登町

担 当 課 中能登町教育委員会 生涯学習課

住 所 〒 929-1721 鹿島郡中能登町井田に部 50 番地
生涯学習センター「ラピア鹿島」

TEL・FAX TEL 0767-76-1900・FAX 0767-76-0909

運営委員会名 (開催回数)	中能登町放課後子ども教室運営委員会 (1回)		
構成役職 (合計人数)	放課後児童クラブ代表、児童館代表、生涯学習課長兼公民館長、生涯学習課長補佐、生涯学習課主査、保育担当課長、保育担当課長補佐、保育担当課主事 (8名)		
検討内容	放課後子ども教室の年間予定について 放課後子ども教室講師について		
放課後子供 教室箇所数	6箇所	放課後児童 クラブ箇所数	5箇所
小学校区数	3校区	小学校児童数	783人
コーディネーター 役職等(人数)	生涯学習課職員：1名、健康保険課職員：1名		
活動内容	放課後児童クラブ、児童館との連絡調整		

コーディネーター紹介

生涯学習課職員が健康保険課職員と連携及び各放課後子ども教室とも連携を取り合い円滑な活動ができるよう相談しながら運営しています。

活動内容については、今後も各教室と相談しながら新たな活動も視野に入れて運営していきたいと思います。

今後も関係機関と連携を取りながら、子供達の自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など掲げて子供達の楽しい時間づくりをしていきたいと思います。

本事業における成果 ・今後の予定や課題

紙芝居で火災警報器の大切さ、身近にある物で災害における避難方法など防災の知識を学ぶことができた。中能登町トレジャートレイルランのランナーに配布する環境に配慮した新聞バッグを作成し、ランナーから好評を得ることができた。今後も新しい企画を視野に入れ、関係機関と協議しながら、子供達の興味を引くような企画を考え、安全・安心に活動できる放課後の居場所づくりに取り組んでいきたい。

かしま児童館放課後子ども教室

中能登町

活動場所	かしま児童館
活動日・時間	不定期 1時間程度
活動内容	エンジョイレクリエーション、トキめき工作、バルンアート おはなし会、バドミントン
指導者等 (スタッフ・運営体制)	地域協力者
活動の成果	運動や遊びを通じ、子供たちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鹿島小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体 との連携	当町で登録されている「まちの先生」のより一層の活用や、地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	新しい企画を取り入れ、引き続き、子供たちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。



バドミントン



トキめき工作

ろくせい放課後子ども教室

中能登町

活動場所	ろくせい放課後児童クラブ
活動日・時間	不定期 1時間程度
活動内容	レクリエーション、防災教室、新聞紙エコバッグ作り おにぎりダンス教室、おはなし会
指導者等 (スタッフ・運営体制)	地域協力者
活動の成果	運動や体験を通じ、子供たちが体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鹿西小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体 との連携	地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	内容を工夫して、子供たちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。



新聞紙エコバッグ作り



おにぎりダンス



令和6年3月発行

石川県教育委員会事務局生涯学習課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1837 FAX 076-225-1838

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/index.html>